

## 宇都宮市の第2層協議体の取組について

宇都宮市で初めて設置された第2層協議体の取組事例を紹介します !!

### 宇都宮市の第2層協議体の取組

#### 【宇都宮市全体の取組】

- ポイント①：地区連合自治会単位で協議体を設置（現在14 / 39設置）
- ポイント②：新規設置のほか、既存会議の活用により協議体の設置を促進
- ポイント③：協議体設置促進のための『手引書』を作成、配布
- ポイント④：協議体間の情報共有のため、協議体意見交換会を開催



### 【協議体の取組例(清原地区)】 ～オール清原の助け合いのあるまちづくりを目指して～

- ・清原地区は、自発的に「福祉のまちづくりを考える会」を発足し勉強会を開催するなど、福祉への関心が高い地域であり、本市で初の協議体が設置された地区（H29.8）
- ・協議体は、民生委員、福祉協力員、福祉に関心がある住民、地域包括支援センターなどをメンバーとし、現在は毎月1回、助け合い活動の担い手として多くの方が参加できるような仕組みについて検討している。

ポイント①：地区内の全世帯を対象にアンケート調査を実施  
(6,400世帯配付)

- ⇒ 高齢者が希望する支援内容や担い手として支援可能な項目を把握
- ⇒ 地域の支援を希望する人や、支援に協力できる人が予想より多いことが判明

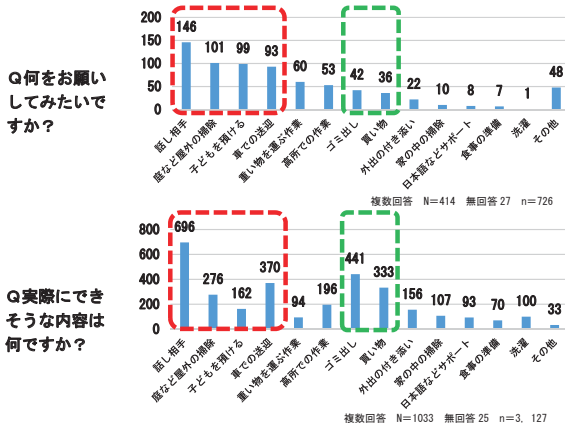
ポイント②：地域住民向けにアンケート報告会を開催し、協議体の取組を広く周知するとともに担い手の候補者を発掘！！

⇒ 今後アンケート結果を踏まえ、地域助け合いの具体的な活動を開始！！



<アンケート報告会のチラシ>

<アンケート結果(抜粋)>



<アンケート報告会の様子>

